



- ◆人口減少，少子高齢化，第4次産業革命，グローバル化など，日本を取り巻く環境は，**急激に変化**
- ◆この時代の大きな変化に的確に対応し，さらなる発展をとげるためには，**これまでの延長線では不可**

本県の生き残りをかけて

茨城県総合計画～「新しい茨城」への挑戦～

基本理念	活力があり，県民が日本一幸せな県
計画期間	平成30年度から4年間（将来構想は，2050年頃を展望）
趣 旨	時代の変化に的確に対応し，未来に希望を持つことができる「新しい茨城」づくりを県民の皆さんと推進していくための県政運営の指針

基本理念

活力があり，県民が日本一幸せな県

人口減少時代を迎える中でも，県民一人ひとりが本県の輝く未来を信じ，
「茨城に住みたい，住み続けたい」人が大いに増えるような，
「活力があり，県民が日本一幸せな県」の実現を基本理念として，県民とともに「新しい茨城」づくりに挑戦

「新しい茨城」づくりに挑戦するために

挑戦する姿勢

「県民とともに挑戦する茨城づくり」「挑戦する県民を応援」など
県全体が一丸となり，果敢に挑戦することを意識
県庁自らも挑戦する組織となるため，第5部に「「挑戦する県庁」へ
の変革」を設定

持続可能な開発目標（SDGs）に向けた取組

グローバル社会の中で大きく飛躍を目指す本県にとっても「SDGs」の
達成に向けた取組は重要な視点であるため，本計画では，各政策
において，「SDGs」の17目標との関連するアイコンを表示



Public Private Action for Partnership!!
SDGsを通じて、豊かで活力ある未来を創る

グランドデザイン

産業の発展や安心安全で質の高い暮らしをもとに、県民の皆さんが、自身のかなえたい夢に向かって挑戦を続けられ、世界から選ばれる茨城となっています。

【2050年頃の将来像】



【県土を支える社会基盤 (インフラストラクチャー)】

2050年頃には、県内外との対流・連携が一層活発化し、誰もが「夢・希望」に溢れる生活を送る社会基盤が整備されています。

道路・鉄道 公共交通機関等

- ・広域交流と地域間連携を支えるネットワークの構築
- ・リニア開通による3大都市圏等とのアクセス向上と、県内への波及

港湾・空港

- ・産業を支え国内外と夢をつなぐ首都圏のニューゲートウェイ

暮らしを支える 社会資本

- ・県民の命と財産を守る社会資本の整備・長寿命化



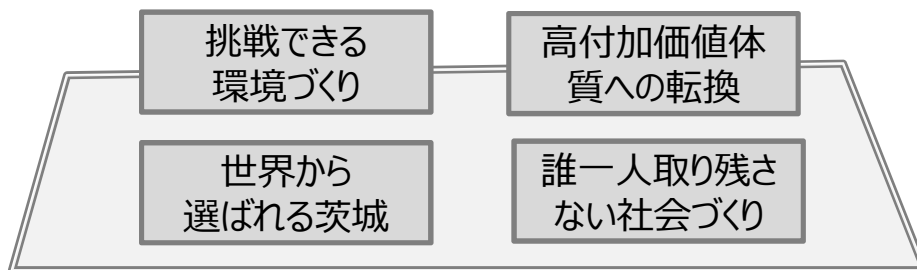
「新しい茨城」づくりに向けたチャレンジ

4つのチャレンジ

活力があり，県民が日本一幸せな県



政策・施策を展開するための4つの視点



挑戦する政策

4つのチャレンジの下に取り組む20の政策
(2018～2021年度)

10年後を見据えた取組

時代の大きな変化に的確に対応し，本県が飛躍するため「これからの10年が極めて重要」という考え方を踏まえた**中期的な視点・取組**

概ね10年後の姿

各チャレンジにより，近い未来に飛躍する本県の姿

重点施策

これからの10年を見据え，横断的かつ重点的に取り組むべき施策

チャレンジ指標

各チャレンジの進捗状況を表す代表的な指標について，計画期間である4年後に加え，10年後の目標値も設定



新しい豊かさへのチャレンジ

力強い産業の創出とゆとりある暮らしを育み、新しい豊かさを目指します。

挑 戦 す る 政 策

1 質の高い
雇用の創出



2 新産業育成
と中小企業等の
成長



3 強い農林
水産業



4 多様な働き方



5 かけがえのない
自然環境の
保全・再生



「新しい茨城」をつくる重点施策

戦略的な企業誘致と「儲かる農業」の実現

- AIやIoTなど新たな成長分野の本社、本社機能、研究所等の誘致
- ICT等を活用した「スマート農業」、農地の集積・集約化による経営規模の拡大。本県農産物のブランド力強化や国内外への販路拡大

チャレンジ指標

○ 1人あたり
県民所得
(全国順位)

2015年 10位

2027年
5位以内

○ 雇用創出数
(期間累計)

2016年 2,415人

2027年
30,000人

○ 生産農業所得
(販売農家
1戸あたり)

2016年 373万円

2027年
1,100万円



新しい安心安全へのチャレンジ

医療，福祉，治安，防災など県民の命を守る生活基盤を築きます。

挑 戦 す る 政 策

6 県民の命を守る地域
医療・福祉



7 健康長寿
日本一



8 障害のある人も暮らしやすい社会



9 安心して暮らせる社会



10 災害に強い県土



「新しい茨城」をつくる重点施策

茨城県医師不足緊急対策行動宣言

- 総合的な医師確保対策の実施
新しい発想であらゆる方策を検討し，医師の県内定着や，地域偏在の解消
- 遠隔医療，在宅医療の推進，看護職員等の医療従事者の確保

チャレンジ指標

○ 医師数

2016年 5,513人

2027年 7,000人

○ 健康寿命

2016年 男性 9位
女性 8位

2027年 男女とも
全国 1位



新しい人財育成へのチャレンジ

茨城の未来をつくる「人財」を育て、日本一子どもを産み育てやすい県を目指します。

挑 戦 す る 政 策

11 次世代を担う「人財」



12 魅力ある教育環境



13 日本一、子どもを産み育てやすい県



14 学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城



15 人権を尊重し、多様性を認め合う社会



「新しい茨城」をつくる重点施策

グローバル社会で活躍する「人財」育成

- ・ 時代の変化に対応し、自ら考え、自ら行動し、解決できるような「人財」の育成
- ・ 英語・プログラミング・理数教育等の充実を図り、意欲ある子どもたちに、より高い教育の機会を提供
- ・ 子ども達が、グローバル社会へ飛び立ち活躍できるよう、多様性を認め合い、挑戦する心を養う

チャレンジ指標

○ 子どものチャレンジ意欲（課題に対して自ら考え取組んだと思う生徒の割合）

2017年 78.8%

2027年 85.0%

○ 生徒の英語力（英検取得又は相当の割合）

2017年 中学43.3%
高校36.2%

2027年 中学75.0%
高校82.0%

○ 県民が希望する子どもの数と実際の子ども数の差

2017年 0.45人

2027年 現状より改善



新しい夢・希望へのチャレンジ

将来にわたって夢や希望を描ける県とするため、観光創生や魅力度向上を図ります。

挑 戦 す る 政 策

16 魅力度No.1
プロジェクト



17 世界に飛躍
する茨城へ



18 ビジット茨城
～新観光創生～



19 茨城国体・障害者
スポーツ大会、東京
オリンピック・パラ
リンピックの成功



20 活力を生む
インフラと住み
続けたくなるまち



「新しい茨城」をつくる重点施策

戦略的なトータルブランドの形成

- 観光誘客、県産品、企業誘致などにおける茨城ブランドの確立に向け、ネットメディアをフル活用した国内外での話題づくりなど、新しい手法による発信力の強化
- 県民が誇りに思っている本県の暮らしやすさなど、新たな発想や切り口による魅力の発掘

チャレンジ指標

○ 成長期待度
(県政世論調査)

2017年 —
※2018年初調査

2027年
最高値の更新

○ 観光消費額

2017年
2,628億円

2027年
5,450億円

○ 農林水産物及
び工業製品等の
輸出額 (県支援分)

2017年 78億円

2027年
144億円

地域づくりの基本方向

地域を取り囲む環境が急激に変化する中、地域が活力を失わず存続するためには・・・

県民一人ひとりが地元・茨城のために、**地域のために何ができるかを考え、自ら行動することによって新しい時代を切り拓く**ことが必要不可欠

基本的な考え方

1 地域づくりの視点

- (1)地域が主体的に考える地域づくり
- (2)広域交通ネットワークで相互に支え合う地域づくり
- (3)最先端技術を活用した特色ある地域づくり
- (4)県境を越える広域連携を見据えた地域づくり

2 地域区分の考え方

「県北」「県央」「鹿行」「県南」「県西」の5地域その他、地域主体の地域振興をイメージしやすくするため、新たな11の「ゾーン」を設定

地域区分毎の基本方向

地域の現状と課題を踏まえ、目指す将来像の実現に向け、様々な取組を進めて地域の振興を図り、本県全体の発展に繋げていきます。

広域的な地域づくり

- 1 観光振興による地域の活性化
- 2 霞ヶ浦と共生する地域づくり

<新たな11ゾーン>



「挑戦する県庁」への変革

時代の変化に柔軟かつ的確に対応し、失敗を恐れずに、新たな施策に積極果敢に挑戦するため

今こそ、**県庁自身が挑戦する組織へ**

基本姿勢	県民本位	「県民のためになっているか」を常に考え、政策を実行します。
	積極果敢	横並び意識を打破し、失敗を恐れず積極果敢に挑戦します。
	選択と集中	目的を見据えて選択と集中を徹底し、経営資源を最大限効果的に活用します。

取組の柱

1 挑戦できる体制づくり

- (1)「人財」育成と実行力のある組織づくり
- (2)働き方改革の推進
- (3)多様な主体と連携した県政運営

2 未来志向の財政運営

- (1)戦略的な予算編成と健全な財政構造の確立
- (2)出資団体改革の推進

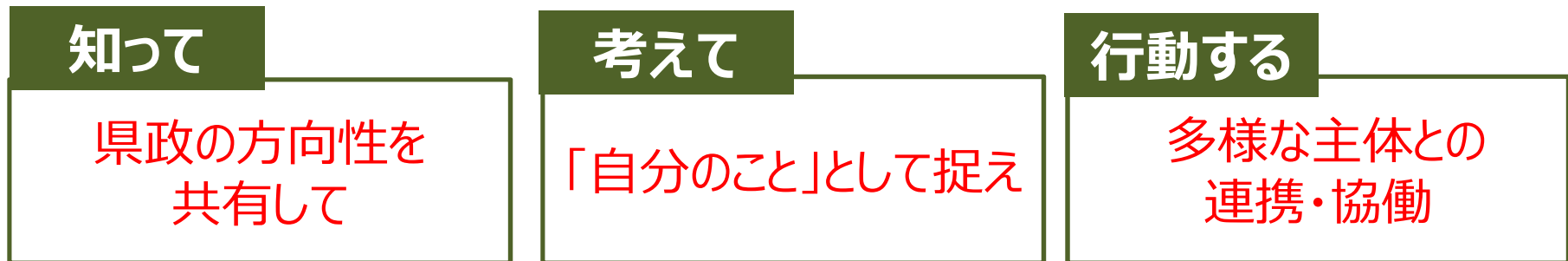


おわりに

新しい茨城づくりには、県をはじめ、県民・企業・NPO・市町村など、多様な主体の連携・協働が不可欠



総合計画は、**県民の皆さんと「新しい茨城」**をつくるための指針



「オール茨城」で、「新しい茨城」への挑戦